

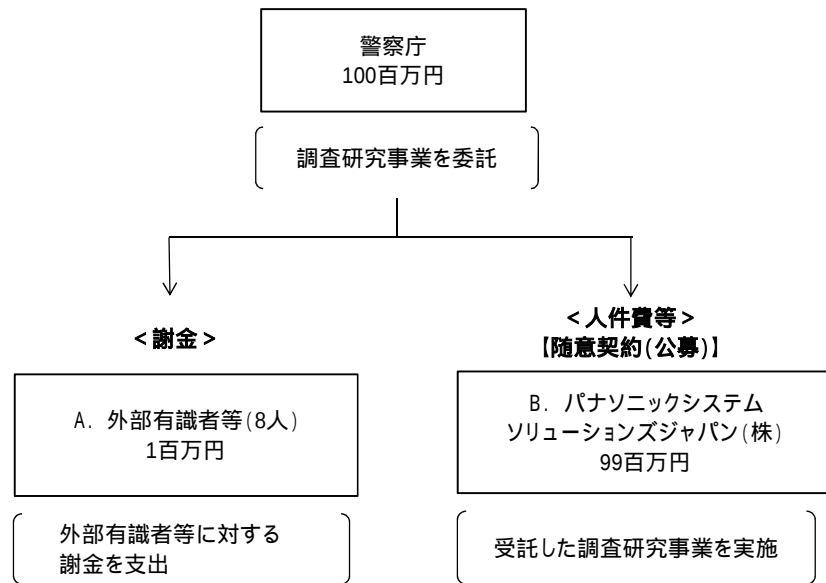
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	街頭防犯カメラシステムモデル事業	担当部局庁	生活安全局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成22年度	担当課室	生活安全企画課	生活安全企画課長 宮城 直樹				
会計区分	一般会計	施策名	1 市民生活の安全と平穏の確保					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	街頭防犯カメラの整備が十分に進んでいない地域における街頭防犯カメラの設置拡充を図るため、警察が設置・運用を進める上でのガイドラインを策定するための諸課題を検討するとともに、標準的な街頭防犯カメラシステムについての実証と開発を行い、各都道府県警察が設置・運用を進める上での環境を整備する。(2ヵ年計画の2年目)							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	法律、都市工学、画像情報処理等の専門家や、自治体、地域住民の代表等で構成される有識者研究会を設置し、調査・検討を行うとともに、有識者研究会における検討をより効率的に進めるため、研究会の下にワーキンググループを設置し、各テーマごとに専門的な検討を行う。また、神奈川県川崎市JR川崎駅東口地区をモデル地区とし、同地区に計50台の街頭防犯カメラを設置し、撮影対象空間の人や車両等の動きが、あらかじめ設定した範囲を超えた場合、激しい動きやい集等を異常行動として認知し、アラーム通報する機能やプライバシーに関する国民の不安を払拭する機能を装備した街頭防犯カメラシステムの実証・開発を実施する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	103	104	-	-	
		補正予算	-	111	0	-	-	
		繰越し等	-	0	0	-	-	
		計	-	214	104	-	-	
	執行額		-	211	100	-	-	
	執行率(%)		-	99%	96%	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 都道府県警察による街頭防犯カメラの設置・ 運用を促進するための環境整備に関する報告 書のとりまとめ		成果実績	件	-	0	1	-
	(成果指標) 報告書数		達成度	%	-	0%	100%	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	防犯カメラシステムの設置・運用台数		活動実績 (当初見込 み)	台	-	50	50 (50)	- (-)
単位当たり コスト	311,926千円 / 事業		算出根拠	総事業費				
平成23・ 24 年度 予算 内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁において執行しており十分に把握している。 2 見直しの余地 平成22年度は、平成21年度からの継続事業であったが、契約に当たっては、競争性を確保するため、公募の上、随意契約を実施した。今後とも、モデル事業等を実施する場合には、競争性の確保に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(事業の終了)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A.外部有識者等			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	謝金	委員謝金	1			
	計		1	計		0
	B.パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費等	設置調整費、回線費、住民意識調査費	92			
	物品購入費	集音装置、制御装置その他部品費	7			
	計		99	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)	街頭防犯カメラシステムの実証開発及び調査研究	99	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

街頭防犯カメラシステムモデル事業フロー

警察が設置する街頭防犯カメラの目的

警察が設置・運用する街頭防犯カメラ(以下「街頭防犯カメラシステム」という。)は、公共空間における犯罪を予防し、被害を未然に防ぐとともに、犯罪発生時には犯罪を速やかに認知し、犯人の追跡や被害者の保護に向かうなど迅速・的確な対応に役立てること。

警察設置の街頭防犯カメラの現状

平成21年3月末現在、警視庁、大阪府警察をはじめ10都府県に総計363台設置されているが、繁華街等犯罪多発地区で、街頭防犯カメラの必要性が高い地区でありながら、未だ設置されていない地区が存在

限られた体制でも効果的な運用が可能なシステムが必要

必要な対策

国民の不安を払拭できるプライバシーの保護を強化した機器が必要

モデル地区(神奈川県川崎市J R川崎駅東口地区)における事業推進(2カ年)

標準的な街頭防犯カメラシステムの開発

スタンダード機能

異常行動検出機能

管理・運用権限別のアクセス権設定機能

プライバシー保護機能

オプション機能

警察活動に役立つ可能性のある機能
(開発段階の技術等)

○ 法的検討

○ 運用・効果検証

H
21

- スタンダード機能の警察活動の現場における効果検証
- 警察活動に役立つ可能性のあるオプション機能の効果検証

H
22

- 街頭防犯カメラシステム用アプリケーションソフトのバージョンアップ
- 平成21年度の実証実験の検証から得られた課題解決のための街頭防犯カメラの設置条件の変更
- コスト削減に係る検討

報告・意見

「警察が設置する街頭防犯カメラシステムに関する研究会」における検討

成果

- 街頭防犯カメラシステムの標準モデル(標準的価格・経費の盛り込み)
- 街頭防犯カメラシステム用アプリケーションソフト
- 街頭防犯カメラシステムの運用ガイドライン
- 街頭防犯カメラシステムの設置・普及についての意見書